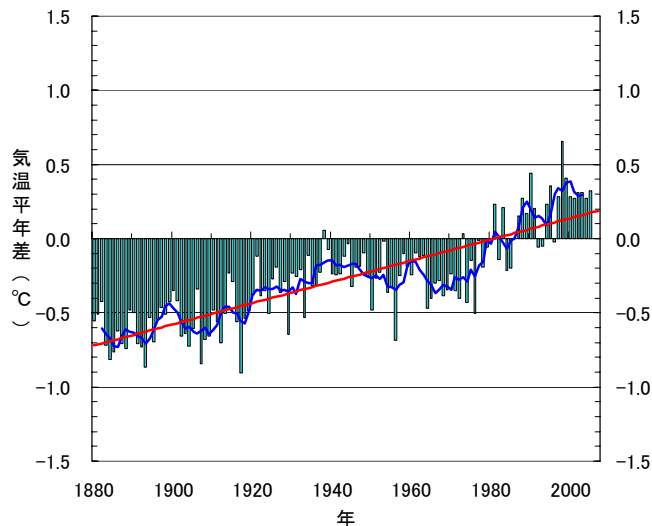


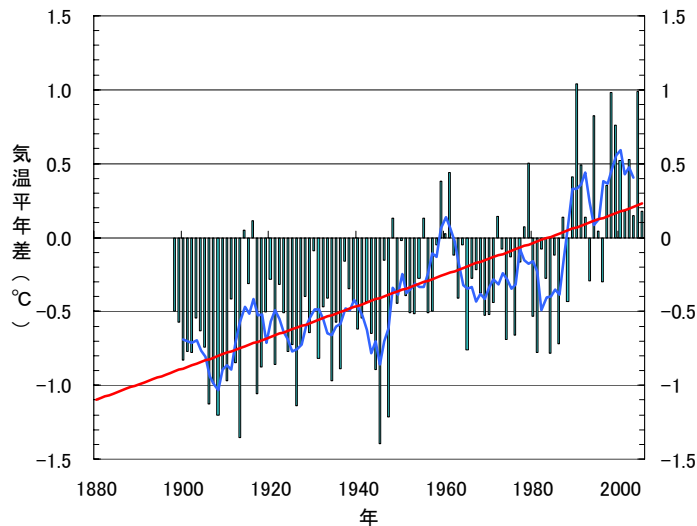
指標：世界及び日本の年平均地上気温の年平均差の経年変化

世界及び日本の年平均地上気温は、'90年代以降に高温を記録した年が集中している。また、長期的傾向としてそれぞれ100年につき0.7°C、1.0°Cの割合で上昇を続けており、日本は世界の傾向と比較して上回っている。

世界の年平均地上気温の年平均差の経年変化(1880年～2005年)



日本の年平均地上気温の年平均差の経年変化(1898年～2005年)



(注)棒グラフは各年の値。折れ線は各年の値の5年移動平均を、直線は長期変化傾向を示す。

「年平均差」とは、平均気温から年平均値(1971年～2003年の平均値)を差し引いた値のこと。

(出典)気象庁資料より抜粋